

本資料は 11 月 5 日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です。
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください。
<http://adec.co/7SwlaB>

アデコ 2019 年度第 3 四半期は業績が堅調

事業強化のための IT およびデジタルへの投資を継続

[2019 年 11 月 5 日 スイス・チューリッヒ]

2019 年第 3 四半期サマリーとハイライト

- 既存事業売上高¹ は前年同期比 2%減、営業日数調整後の既存事業売上高は、ヨーロッパおよび米国の厳しい市場環境の影響により前年同期比 4%減
- 既存事業の粗利率は成長を続け、バリューベースのプライシングと事業の組み合わせの強化が牽引して前年比 70bps 増の 19.4%
- 一時的要因を除く²EBITA³ 利益率は前年同期比 10bps 減の 4.9% ; 構造的な生産性の向上が、売上高成長の減速と IT への戦略的な投資により相殺
- 2019 年および 2020 年におけるコミットメントを達成するための「GrowTogether」プログラムが計画通り進行
- 強固なバランスシートにより、一時的要因を除く EBITDA への純負債⁴ は 1.1x ; 現金流動性⁵ は 84%で DSO が改善
- 2019 年 9 月と 10 月を合わせた既存事業売上高は前年同期比 4%減で 2019 年度第 3 四半期と同等

アデコグループ CEO のアラン・ドゥアズは次のようにコメントしています。

「2019 年第 3 四半期は、不確実な外部環境のなかで堅調な業績を実現しました。当社は引き続き事業の変革に注力し、事業を根本から強化するための戦略的優先事項である「GrowTogether」プログラム、IT、そしてデジタルベンチャーへの投資を継続してまいります。

バリューベースのプライシングと事業の組み合わせの向上に引き続き重点を置いていることから粗利率は持続的に増加し、前年同期比では 60bps 増となりました。

また、キャリア移行および人材開発の領域においても堅調な業績を達成し、リー・ヘクト・ハリソンの成長への回帰とゼネラル・アセンブリーの売上高成長の加速によって、これらの事業が当社のポートフォリオにもたらす価値が確かになりました。

第 4 四半期に目を向けると、「GrowTogether」プログラムの次の層の構築を継続するとともに、顧客企業と働き手により大きな価値をもたらすデジタルツールおよびソリューションの提供にフォーカスしています。これには、強化されたフロントオフィス向け統合ソリューションの展開、世界中の働き手に向けたアプリ、そして「PERFORM」メソッドが含まれ、「GrowTogether」プログラムにより 2020 年に 2 億 5,000 万ユーロ相当の生産性向上を実現するという目標の達成に向けて順調に進んでいます」

*1 : 既存事業売上高とは米国会計基準以外の基準で、為替変動、M&A、事業部売却の影響を除く

*2 : EBITA は米国会計基準以外の基準で、償却前営業利益、のれん、および無形固定資産の減損を含む

*3 : 2019 年第 3 四半期の EBITA は、1,600 万ユーロの一時的要因を含む ; 2018 年第 3 四半期の EBITA は、400 万ユーロの一時的要因を含む



*4：現金流動性は米国会計基準以外の基準で、直近四半期のFCFBITを、直近四半期のEBITAで割ったものを四捨五入して計算

*8：EBITDAへの純負債は米国会計基準以外の基準で、期末時点での純負債を、一時的要因を除いた直近四半期のEBITAで割って減価償却費を加えたもの

<主な数値>

2019年第3半期の損益計算書情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2019年 第3四半期	2018年 第3四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	5,898	5,996	-2%	-3% ⁶
売上総利益	1,146	1,124	2%	0%
EBITA利益 (一時的要因を除く)	288	302	-4%	-6%
EBITA利益	272	298	-9%	-10%
当期純利益	179	270	-34%	
希釈EPS(ユーロ)	1.10	1.63	-32%	
粗利率	19.4%	18.7%	70bps	60bps
EBITA利益率 (一時的要因を除く)	4.9%	5.0%	(10)bps	(10)bps
EBITA利益率	4.6%	5.0%	(40)bps	(40)bps

2019年第3四半期のキャッシュフローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2019年 第3四半期	2018年 第3四半期
利払いおよび納税前のフリー・キャッシュフロー ⁷ (FCFBIT)	211	222
フリー・キャッシュフロー (FCF)	137	130
純負債	1,244.1	1,239
未払い日数	53	54
現金流動性	84%	78%
EBITDAへの純負債	1.1x	1.1x

*6：2019年第2四半期の既存事業の売上高は前年同期比4%減、または営業日数調整後で3%減。2019年度上半期の既存事業の売上高は前年

*7：フリー・キャッシュフローは米国会計基準ではない尺度で、営業活動からのキャッシュフローから設備投資を控除したもの

2019年第3四半期の日本の状況

2019年第2四半期の日本での売上高は、ゼネラル・スタッフィング事業の成長とプロフェッショナル・スタッフィング事業の二桁成長が牽引し、前年同期比6%増または営業日数調整後で9%増の3億8,000万ユーロとなりました。人財紹介事業は対前年比の条件の悪化の中で2%減に止まりました。EBITAは2,600万ユーロ、EBITA利益率は前年同期比20bps減の6.8%でした。

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 広報部 Tel. 050-2000-7024